

製品名: コンタクチン 6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09244**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CNTN6
別名	CNTN6; Contactin-6; Neural recognition molecule NB-3; hNB-3
遺伝子 ID	27255.0
SwissProt ID	Q9UQ52
免疫原	抗血清はヒト CNTN6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 331-380

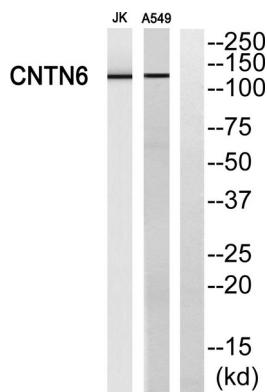
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。これは、グリコシルホスファチジルイノシトール (GPI) アンカー型の神経膜タンパク質であり、細胞接着分子として機能します。発達中の神経系における軸索結合の

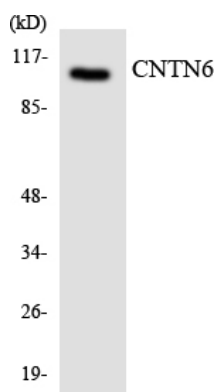
形成に関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq提供、2014年1月],機能: コンタクチンは、神経系の発達において細胞表面相互作用を媒介します。NOTCH1のリガンドとして作用することで、オリゴデンドロサイトの生成に関与します。NOTCH1との結合により、放出されたノッチ細胞内ドメイン (NICD) を介してNOTCH1の活性化が促進され、核への移行が促進されます。運動協調に関与します。類似性: 免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。コンタクチンファミリー。類似性: 4つのフィブロネクチンIII型ドメインを含む。類似性: 6つのIg様C2型(免疫グロブリン様)ドメインを含む。組織特異性: 神経系で発現。小脳で高発現。視床、視床下核で中程度の発現。脳梁、尾状核、脊髄で弱発現。

研究分野

画像データ



CNTN6抗体のウェスタンブロット解析。右レーンはCNTN6ペプチドでブロックされている。



CNTN6抗体を使用したHeLa細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。